

採択事例 30
(平成 25 年度)

補助種別 木造化


プロジェクト名

(仮称) 入間ログハウス 3 階建て 複合施設 建設工事

提案者(事業者)

株式会社 フェニックスホーム

設計者

合同会社 ウッドワークス一級建築士事務所

施工者

有限会社 倉沢工務店

建設地

埼玉県入間市小谷田 1 丁目 1022 番 1

竣工済につき
簡略版としています

竣工済

提案の
概要



A. プロジェクト全体の概要

(仮称) フェニックスホーム共同住宅建設工事。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 建物全体の木造化。
- 丸太組構法による、総3階建て共同住宅兼事務所・店舗用途。

C. 提案のアピールポイント

- 建物全体は 60 分準耐火構造とする。丸太組構法としては、国内でも他の建設事例のない、総3階建てとし、軒高さは、9.6 m、最高高さ 12.1 m を予定する。



総3階建てのログハウスとして建てられた南側外観

評価の
ポイント



丸太組構法による総3階建ての事務所兼共同住宅(一部店舗)の計画。丸太組構法の総3階建ては国内で他に例のない規模となり、建物全体が 60 分準耐火構造となっている。構造計算についても、丸太組構法としてはこれまでに例のない限界耐力計算を採用する。丸太の材料には国産の杉材を使用し国内の工場で行う計画としている。設計手法の公開は、3階建て丸太組構法の設計法構築の基礎資料となることを期待され、また、工事中および完成後の適時一般公開により、丸太組構法の普及、木材利用の促進に貢献することが期待される。



先端性・先進性

- 3階建ての丸太組構法建築は仕様規定から外れ、限界耐力計算手法による構造検討が必要になる。丸太組構法の限界耐力計算による設計は例がない。
- 1階から3階までを丸太組構法の外壁及び間仕切り界壁とし、60分準耐火性能を確保する。
- 国産杉の中目材（末口20～28cm）～大径材（30cm以上）の有効利用は、丸太組構法材としての利用が今後見込まれており、現状は大径の材でありながら、価格的なメリットが出しやすい。

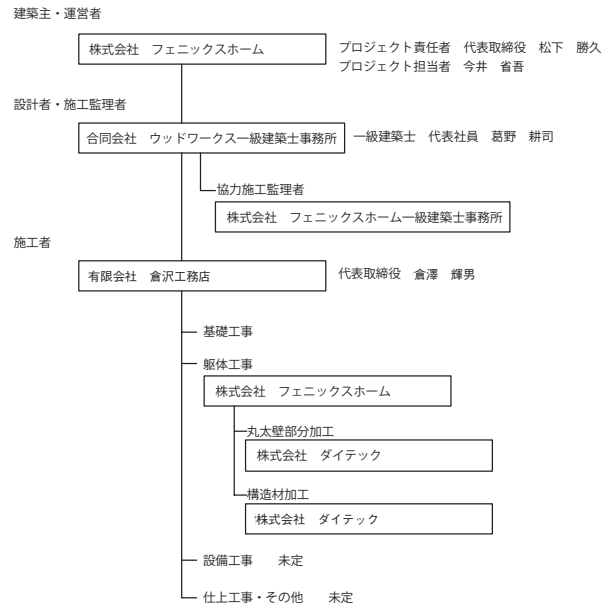
波及性・普及性

- 3階建てができることで、丸太組構法の用途が拡大する。
- 低層の共同住宅用途は、今後の丸太組構法の需要が見込まれる。
- 木材利用をダイナミックに感じさせる内外観を実現する。

使用する木材、木質建材の特徴

- 丸太材には国産杉の赤身部分を主体的に使用する。赤身材の利用によって、腐朽に強い壁材を実現する。
- 国内有数の大径材 JAS 認定工場による乾燥技術で、乾燥収縮の影響を少なくする。

事業の実施体制



プロジェクト データ



提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は扉頁参照

建物名称：(仮称) フェニックスホーム共同住宅
建設工事

主要用途：事務所、店舗、共同住宅

主要構造：■木造（□軸組構法 □枠組壁工法
■丸太組構法 □その他） □鉄骨造
□鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋
コンクリート造 □その他

防火地域等の区分：□防火地域 □準防火地域
■法22条区域 □その他の区域

耐火建築物等の要件：□耐火建築物 ■準耐火
建築物（60分耐火） □準耐火建築
物（45分耐火） □その他の建築物

敷地面積：643.61㎡

建築面積：236.63㎡

延べ面積：450.59㎡

軒 高：9.614m

最高の高さ：12.121m

階 数：地上3階

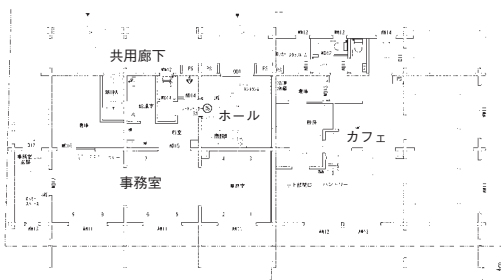
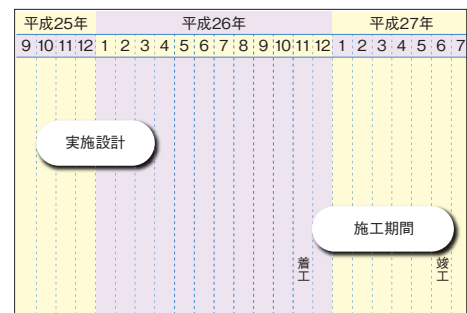
事業期間：平成25年度～27年度

補助対象事業費：112,300千円

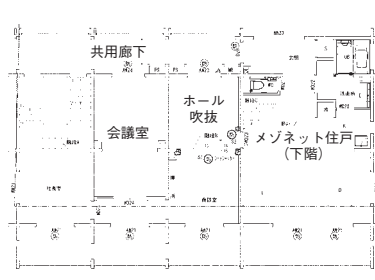
補助金額：20,450千円



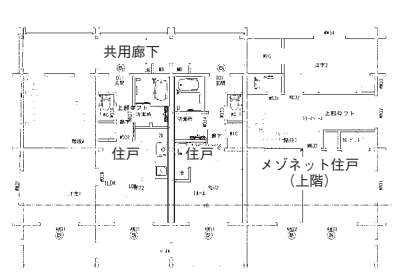
事業スケジュール



1階平面図



2階平面図



3階平面図

採択事例 30 (仮称)入間ログハウス3階建て
竣工報告 複合施設 建設工事



北側外観



東側カフェエントランス側の外観



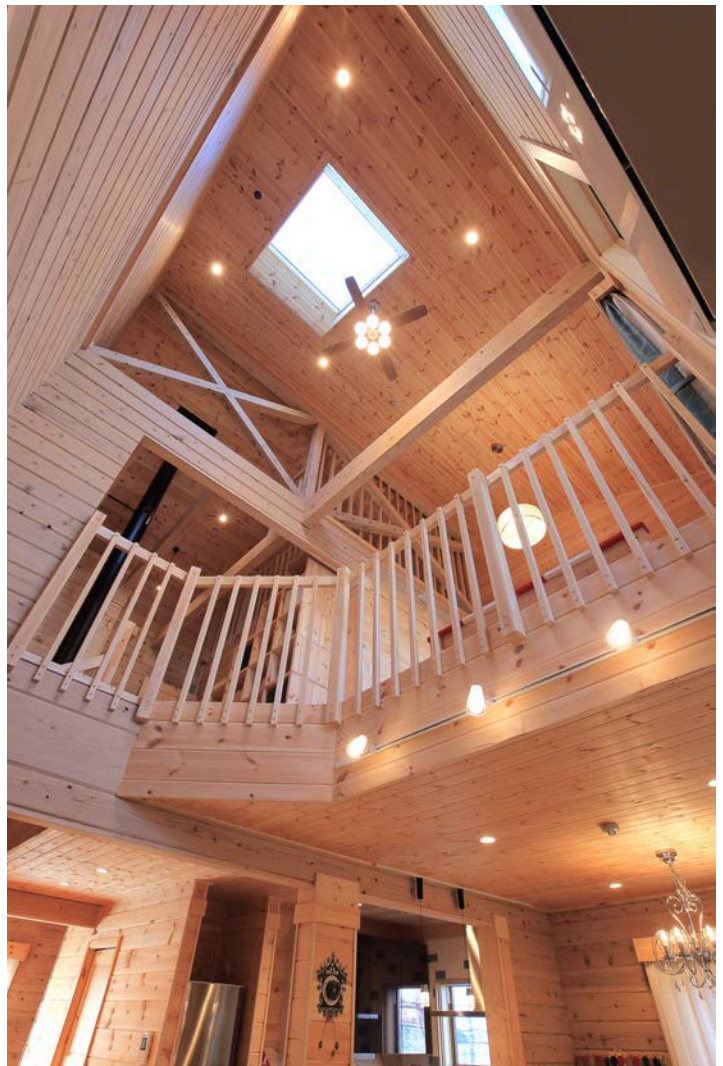
メゾネット住戸



1階カフェ店内の様子



フラット住戸



メゾネット住戸の吹抜けの見上げ